

This was in London, England. And there was a girl named Wendy. She was looking up into the sky full of stars, from the upstairs balcony.

Inside the room, there were her two brothers, sleeping peacefully.

"Today is Christmas. That person is coming for sure. He's coming to pick me up, just as promised."

After some time, a small ball of light suddenly flew into the room. After flying around the room, it softly landed on top of a toy castle's chimney.

Wendy took a closer look at it, realizing it was a tiny girl. The girl with butterfly-like wings on her back bowed to Wendy.

Wendy then, crouched down in front of the girl, and gently stroked the tiny girl's fringe with her fingers.



"Welcome back, Tinker Bell. Where is Peter Pan?"

"I'm here, Wendy!"

Wendy quickly turned around in surprise. Before she could notice, there was a boy standing on the balcony, where she was just before.

"Oh, Peter! You came, just as I thought!"

"Of course. Let's go to Neverland together!"

Peter Pan was a boy from the world called Neverland. Last night, Peter Pan appeared in this room with Tinker Bell, and told Wendy and her brothers about Neverland. Wendy woke her brothers up, John and Michael.



ここは イギリスの ロンドン。にかいの へやの
バルコニーから、まんてんの ほしぞらを ながめている、
ひとりの しょうじょが いました。なまえは『ウエンディ』。
へやの なかでは、ふたりの おとうとが、
ねいきをたてて すやすやと ねむっていました。

「きょうは クリスマス。あのひとは きつとくる。
やくそくどおり、わたしを むかえにくるの」

やがて、ちいさな ひかりの たまが、まどから へやに
とびこんできました。それは へやじゅうを とびまわった
あと、おもちゃの おしろの えんとつの うえに、
ちょこんと とまりました。

よくみると それは、ちいさな おんなのこでした。
せなかに チョウのような はねを はやした おんなのこが、
ウエンディに おじぎを しました。
ウエンディは、おんなのこの まえに しゃがみこみ、
かのじょの まえがみを、ゆびで やさしく なでました。



「いらっしゃい、ティンカーベル。

『ピーターパン』は どこにいるの?」

「ぼくは ここだよ、ウェンディ!」

ウェンディは、おどろいて ぶりかえりました。
さきほどまで ウェンディのいた バルコニーに、
いつのまにか、ひとりの おとこのこが たっていました。

「まあ、ピーター! やっぱり きてくれたのね!」

「もちろんだよ。さあ、ぼくと いっしょに、
ネバーランドへ いこう!」

ピーターパンは、ネバーランドという せかいに すんでいる
おとこのこです。さくや ピーターパンは、
ティンカーベルと いっしょに このへやに あらわれて、
ウェンディと おとうとたちに、ネバーランドの はなしを
していったのです。ウェンディは、おとうとの ジョンと
マイケルを おこしました。

